



・・・ 新刊本紹介 ・・・

本の名前	書いた人	出版社
アウトな敬語、セーフな敬語	西原 鈴子	PHP研究所
あした吹く風	あさの あつこ	文芸春秋
五十嵐圭のバスケット教室	五十嵐 圭	白夜書房
悼む人	天童 荒太	文芸春秋
一年は、なぜ年々速くなるのか	竹内 薫	青春出版社
医療破綻	中原 英臣	PHP研究所
Xデーにそなえる新型インフルエンザ完全対策ブック	岡田 晴恵	朝日新聞出版
エッジ(上)(下)	鈴木 光司	角川書店
Aクラス自分史		羽衣出版
お寺に泊まる京都散歩	吉田 さらさ	新宿書房
オバマのアメリカ	渡辺 将人	幻冬舎
オリンピックの身代金	奥田 英朗	角川書店
カイシャの意外史	村橋 勝子	日本経済新聞出版社
花王「アタック」はシャツを白く染める	渡辺 雄二	緑風出版
霞ヶ関「解体」戦争	猪瀬 直樹	草思社
くじらくもからチックタックまで	石川 文子	フロネーシス桜陰社
これから「お墓」どうしよう!?		オレンジページ
近藤典子の収納の基本	近藤 典子	主婦の友社
色弱の子を持つすべての人へ	栗田 正樹	北海道新聞社
重曹のある暮らし	岩尾 明子	マーブルトロン
自殺したらあかん!	茂 幸雄	三省堂
自由と民主主義をもうやめる	佐伯 啓思	幻冬舎
「水分の摂りすぎ」はこんなに怖い	石原 結実	広済堂
数学のモノサシ	寄藤 文平	大和書房
図解日本の装束	池上 良太	新紀元社
図解早わかり消防法	大脇 賢次	ナツメ社
生死を分ける災害時とささの判断力	三雲 大	榎出版社
世界と日本経済30のデータラメ	東谷 暁	幻冬舎
雪山冥府図	澤田 ふじ子	光文社
退職金は何もしないと消えていく	野尻 哲史	講談社
手織り工房	彦根 愛	グラフ社
哲学するって、こんなこと?	篠原 駿一郎	未知谷
土地建物の法律	海老沼 利幸	三修社
読書は1冊のノートにまとめなさい	奥野 宣之	ナ・コポレート・コミュニケーション
人情屋横丁	山本 一力	角川春樹事務所
箸袋で箸置き。	山口 真	PHP研究所
畑仕事十二ヶ月	久保田 豊和	家の光協会
繁盛商店街の仕掛け人	鶴野 礼子	ダイヤモンド社
ひとつ目女	椎名 誠	文芸春秋
病気・症状別おばあちゃんの知恵袋450		主婦の友社
美髪宣言	平沢 隆司	ゴマブックス
武士の尾	森村 誠一	幻冬舎
ほんとうは恐ろしい結婚式	桐山 秀樹	プレジデント社
ママと覚えよう!キッチンでたどるパソコン用語	立山 秀利	ジャムハウス
モノを選んで二度と増やさない!45のコツ	板垣 康子	ずばる舎
モンスター・ペアルセントのありえないジョーク集	上田 小次郎	CCRE
雪遊び達人ブック		いかだ社
レトロな雑貨に囲まれたあたたかな暮らし		主婦と生活社
私の好きな日本人	石原 慎太郎	幻冬舎
森に眠る魚	角田 光代	双葉社

読まんかね

November. 2008 Vol. 42

隠岐の島町図書館

〒685-0014
 島根県隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二・17-1
 tel : 08512-2-2341 fax : 08512-2-9198
 e-mail : s-tosho@mx.miracle.ne.jp



Sorry ・・・蔵書点検による休館のお知らせ・・・ **Sorry**

2月4日(水)から2月11日(水)まで
 蔵書点検のため休館いたします
 ご迷惑をおかけいたしますがご理解くださ
 いますようお願いいたします

蔵書点検とは・・・

図書館にある資料すべてをひとつひとつ確認し
 て、迷子になっているものや行方不明になっている
 ものがないかどうかを調べる作業です。
 本やビデオなどについているバーコードを読み取
 り、コンピュータのデータと照らし合わせて確認し
 ます。
 また、この期間には本棚の掃除をしたり本を置く
 場所などを変更したりと、普段出来ないことをやり
 ます。



ボランティア募集・・・

蔵書点検のときには、毎年ボランティアの方に本
 棚の掃除や本の整理などをお手伝いしてもらって
 います。
 利用者の方が手伝ってくださるので、図書館に対
 する意見なども聞けるととても良い機会となってい
 ます。
 今年もお手伝いをしてくださる方を募集していま
 す。ご協力をお願いいたします。

・・・ 1月の休館日・・・
 12 (月) 13 (火) 18 (日)
 19 (月) 26 (月)

・・・このほかにもたくさん新しい
 本が入っています
 チェックしてみてください

・・・新春尺八演奏会・・・

～春・平和を願って～

図書館開放事業として【新春尺八演奏会】をおこないます。

日本の伝統的な尺八の音色に酔いしれてみませんか。

入場無料でどなたでも参加いただけますのでぜひお越しください。

日時 平成21年1月17日(土)

午後6時から7時まで

会場 隠岐の島町図書館 研修室

曲目

1. 春風 (都山流本曲)
2. 平和の山河 (都山流本曲)
3. 春の海 (世界に響く大曲)
4. 北国の春 (演歌)



演奏者

- 井奥剛山
竹森鵬山
石田剛虚
横地剛志

・・・プレジャー発行・・・

中高生による中高生のための図書館情報誌「プレジャー」の6号を発行しました。

編集委員によるリレー小説やオススメ本の紹介、アンケートや投稿など内容盛りだくさんです。図書館カウンターに置いてありますので、こちらもぜひ読んでみてください。

プレジャーと一緒に作ってくれる編集委員を常時募集しています。やってみたい方は図書館まで!! (中高生のみ)

・・・丑年にちなんで・・・

今年は丑年です。図書館入り口に片岡鶴太郎さんが描いた突き牛の絵(隠岐牛突き保存協会所蔵)を飾っています。迫力のある牛の絵です。



新年にちなんで、暦や行事などの本や牛に関する本などを紹介しています。

・・・インターンシップ・・・

12月に隠岐水産高校の生徒さんが図書館に現場実習にいられました。

自分の将来を見据えて、働くということを身近に感じられたようです。

私たちが普段している仕事はもちろんのこと、人手がないと出来ない仕事までいろんな仕事をしてもらいました。

4日間お疲れ様でした。

生徒さんの感想の一部

想像していたより重労働が多く、4日間終えた時には肩と腰がとても痛かったです。しかし、書架整理をしているとおもしろそうな本を見つけたり、どこにどんな本があるかを知ることができ、これから利用する時はとても役に立つと思いました。

図書館での仕事は楽しく、とても良い体験が出来ました。

頑張ってくださいね★



・・・クリスマス会盛大に・・・

今年もボランティアの皆さんにご協力いただいてクリスマス会を行いました。

大型絵本「サンタクロースってほんといいの？」や新作のペープサート「金のおの」などを楽しんだ後は、オリジナルのクリスマスカードを作りました。最後にはサンタさんからのプレゼントもあり、子どもたちの笑顔がはじけました。約80名の参加があり盛り上がりしました。

五箇公民館でもクリスマス会をおこない、こちらも皆さん楽しまれた様子でした。

クリスマス会の様子



↑ 図書館

← 五箇公民館

・・・展示コーナー & 特集コーナー・・・

展示コーナー

町のアーティスト展 第1弾

『なんでも手づくり展』

西村の幸塾で陶芸や染物など様々なものづくりをされている土井幸子さんの作品を展示しています。ぜひご覧ください。

期間：1月6日(火)～2月14日(土)

図書館では町でもものづくりをしておられる方の展示を今後も継続して行いたいと考えています。ものづくりをされている方の情報をお寄せください。

特集コーナー

おりがみ

折り紙は思っている以上に使い道があるようです。箱や立体を作ってインテリア小物としても使えるし、子どもと一緒に折って遊んでコミュニケーションツールとしても役に立ちます。

えほんコーナー

ゆき

年々雪が積もらなくなってしまっていて子どもたちはなかなか雪遊びを楽しめません。雪が降ったら楽しいことがたくさん!! 雪をテーマにした本を紹介しています。

・・・12月の利用状況報告・・・

	入館者数	貸出人数	貸出冊数	登録者数
20年度	5,087	1,495	6,978	31
19年度	4,869	1,537	6,407	20
比較	218	42	571	11

・・・12月によく読まれた本ベスト10・・・

1位	ワルツ	花村萬月	角川書店
2位	必死のパッチ	桂 雀々	幻冬舎
3位	ニセ坊ちゃん	東 貴博	幻冬舎
4位	水滸伝 11	北方謙三	集英社
5位	ほんとうはおそろしい結婚式	桐山秀樹	プレジデント社
6位	容疑者Xの献身	東野圭吾	文芸春秋
7位	松江 出雲		JTBパブリッシング
8位	紅蓮	村中 豊	朝日新聞出版社
9位	ホームレス中学生	田村 裕	ワニブックス
10位	間違いだらけのエコ生活	武田邦彦	主婦と生活社

・・・図書館職員オススメの一冊・・・

「風が強く吹いている」 三浦しをん・著 / 新潮社



今月は曾田が紹介します

お正月といえば箱根駅伝! 今年も楽しみにテレビを見ていた方もおられると思いますが、その一方、まるで興味なし! という方もおられるのではないのでしょうか。(私も、毎年家族に付き合っただけでランナーを見守っていましたが...) この本は、「まるで興味なし!」派も楽しんで読める箱根駅伝を舞台にした小説です。

たった10人の、しかも陸上のド素人がほとんどというチームで、ひよんなことから箱根駅伝出場を目指すことになる、というストーリーです。9ヶ月しかない期間で、必死にタイムと闘いますが、それはやがて、仲間や自分と闘っていくこととなります...

メンバーは、下宿「竹青荘」に集うキャラクターの強い貧乏学生たち。友情・恋愛・夢・笑い...、ちょっとだけレトロな青春小説の要素が揃っていて、気付くと夢中で読んでしまっています。

また、当館には著者・三浦しをんさんの「笑える」エッセイもありますので、ぜひ、そちらも読んでみてください。